

The ICF Coach Knowledge Assessment (written exam)

ICF コーチ・ナレッジ・アセスメント【筆記試験】

2013年6月発表の通り、2014年4月1日からすべてのICF資格認定申請者はコーチ・ナレッジ・アセスメント（コーチ知識確認テスト：CKA）を受験する必要があります。

CKAはウェブ上で受験できる選択式のテストで、自宅や職場のコンピューターでの受験が可能です。資格更新者はCKA受験の必要はありません。

受験者が試験プロセスを理解しやすくするため、ICFはFAQ(良くある質問集)をまとめました。

下記でダウンロードが可能です。

http://www.icfjapan.com/wp-content/uploads/20140410-ACC-Written-ExamFAQ_japanese.pdf

背景： 5年程前に、ICFはコーチングを実践する重要な知識とスキルへの理解を深めるために大規模な調査を実施しました。調査の結果、コーチたちがプロとして活動する際、ICFによるコーチングの定義、コア・コンピテンシーや倫理規定に大きく頼っていることがわかりました。この結果をもとに、ICFの資格保持者がこれらの知識の根幹を理解していることを証明できるようにすべきである、という結論に達しました。ICFに属する様々な専門コーチたちによる多様性のあるチームが、理解度を図るためのツールとなるICFコーチ・ナレッジ・アセスメントの作成に貢献しました。私たちは、この試験を受験する過程そのものが基礎知識の理解に役立ち、能力の高いプロフェッショナルコーチの育成に大変重要であると信じています。

内容： コーチ・ナレッジ・アセスメントは、5つの分野をカバーしています：「基盤を整備する」「関係性を共に築く」「効果的なコミュニケーション」「学びと結果を促進させる」「コーチングの基盤と知識の基礎」です。すべての質問はICFが定義するコーチング、コア・コンピテンシー、倫理規定に基づいています。質問の難易度は様々で、概念やスキルに対して気づきを起こすものから、より深い理解を必要とするようなシナリオなど多岐にわたります。

形式： CKAには現時点で155の選択肢があります。各設問は、短い記述形式や4つの答えから選択する質問形式になっています。選択肢の中でICFが正しいと認める答えは1つしかありません。

質問例： 次の4つの質問はテストで実際に問われる形式のサンプルです。正しい解答は太字になっています。

■基盤を整備する

サンプル質問： そのクライアントは、普段は前向きでやる気に満ちたマネージャーです。コーチングセッションに来る直前に、仕事上での責任が大きく変わり、現在情熱を傾けている仕事に今後は関わらない、ということ伝えられました。クライアントはとてもネガティブな気分セッションにやってきました。そして、その日のセッションでそのことを取り上げたいと訴えてきました。コーチとして最良の進め方はどれでしょう？

- a- 現状から考え得る限りの前向きな面を聞き出す
- b- クライアントに、前回終了時に決めた今回扱う予定の内容に従うことを思い出させる

- c- そのセッションでの成果を検討し、クライアントとコーチの間で明確にする
- d- 共に取り組んでいることに情熱を持って当ることがいかに重要であるか、をクライアントに指摘する

■関係性を共に築く

サンプル質問：あるクライアントが状況を説明しているが、そのクライアントがまだ伝えきれていないものがあると、コーチは感じている。コーチはどのようにその状況にアプローチすべきか？

- a-クライアントの話を遮って、よりオープンに開示することをリクエストする
- b-コーチがクライアントに、自分が読み取った状況を伝える
- c-クライアントに対し、もう少し状況を掘り下げて尋ねてよいかどうかの承認を取る
- d-コーチングを行う際の、正直さの重要性について、フィードバックする

■効果的なコミュニケーション

サンプル質問：たくさん問題を持ち込むクライアントに対処する際、コーチにとって最良な選択は、

- a-コーチが最も経験のある分野を選択する
- b-クライアントがどれから始めたいかを訊く
- c-時間内に対処できそうな問題を取り上げる
- d-クライアントの為に最も役立ちそうな問題を取り上げる

■学びと結果を促進させる

サンプル質問：：ゴールを設定し、計画を策定し、優先順位をつけることにおいて、コーチの正しい役割は

- a-クライアントのゴールを批評したり脚色したりする
- b-ゴールに向かうための必要性をクライアント任せにする
- c- 期間内に確実に終了させる工程管理を担当する
- d-クライアントが、ゴールを設定し、計画を策定し、優先順位をつけられるように促す

■コーチングの基盤と知識の基礎

質問サンプル：すべてのコーチングの会話に必ず伴うものは、

- a-行動計画
- b-クライアントが決めたテーマ
- c-日々の活動の見直し
- d-コーチによるクライアントの進捗の要約

(2014.4.1)